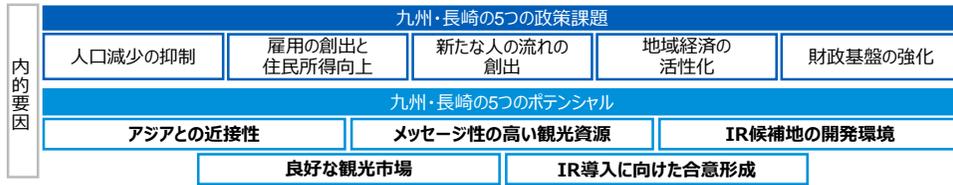


九州・長崎IR 基本構想（概要）

九州・長崎IRの導入意義と目標

世界最高水準のIR導入による、**地方創生に留まらない、国施策への貢献**

外的要因	世界	日本	九州・長崎
	観光は成長産業 IRによる成功事例 各地で新たなIR開発	観光立国実現に向けた取組の推進 (観光ビジョン等の策定)	九州一体となった 観光戦略の推進 観光先進国への飛躍 (IR導入の推進)

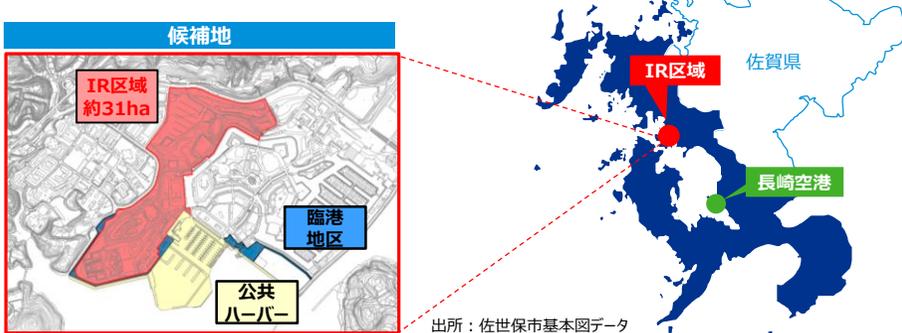


<p>『観光先進国』としての日本</p> <p>日本型IR導入による 国際競争力の高い滞在型観光の実現 <IR区域整備></p> <p>2030年までに、訪日外国人旅行者数 6,000万人、同消費額15兆円の達成 <明日の日本を支える観光ビジョン></p>	<p>『地方創生』</p> <p>(しごと) 良質な雇用創出・所得向上 (ひと) 若者定着・UITターン促進 (まち) 「しごと」と「ひと」の好循環を 支える都市機能強化</p>	<p>更なる『国施策への貢献』</p> <p>九州に多数所在の 国境離島地域の保全・振興 <有人国境離島法></p> <p>古くから九州が誇る 歴史・芸術・伝統等の文化保全・活用 <文化経済戦略></p> <p>日本とアジアを繋ぐ 九州ゲートウェイ機能の強化 <九州圏広域地方計画></p>
--	---	---

コンセプト（九州・長崎IRの目指す姿）

九州・長崎IRのコンセプト（目指す姿） 世界と日本をつなぐ「九州創生IR」

- 九州・長崎IRの実現を通し、九州が日本の成長・地方創生に貢献できる3つの視点
 - ゲートウェイ・九州：日本の玄関口としてアジア地域の成長力を引き込み
 - ショーケース・九州：日本・九州の文化の創造的活動・発信
 - 観光アイランド・九州：'島国'らしい豊かな自然、歴史、食材、温泉を体験



九州・長崎IRが有すべき施設・機能

<p>「①MICE施設」</p> <p>アジア屈指の リゾートMICE拠点の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ハイクラスに対応可能なラグジュアリーかつ隔離性のあるミーティング施設 ■クルーズによる新たなインセンティブMICE需要の創出 ■最大規模のインセンティブツアーに対応可能な国を代表する規模（最大会議室の収容人数6千人以上・施設全体の収容人数1万2千人以上）のコンベンションホール ■人々の交流を促し、多目的利用が可能な一定規模以上（展示床面積の合計2万㎡以上）の展示場施設
<p>「②魅力増進施設」</p> <p>九州・日本の魅力創出と 発信拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■日本・九州の伝統・文化・芸能のコンテンツをショービジネスとして展開し、日本各地・九州の津々浦々への観光の起爆剤となる施設 <ul style="list-style-type: none"> - 日本・九州各地の伝統芸能のエンターテインメント化 - クールジャパンの発信 - 祭りアイランド九州 - 九州・日本の食文化発信 <p>出所：祭りアイランド九州</p>
<p>「③送客施設」</p> <p>九州・日本の観光の 顧客体験価値の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■最先端技術等を活用したショーケース機能、コンシェルジュ機能の導入により、顧客体験価値を創造する施設 ■移動自体のアクティビティ化を含めた、交通機能の強化（バスターミナルをはじめとした交通拠点整備等） ■九州圏内の広域滞在型観光を加速させるための連携体制の構築（観光案内所、DMO等との連携含む） <p>出所：SkyDrive</p>
<p>「④宿泊施設」</p> <p>リゾート空間の演出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ハイグレードを含めた幅広い客層・ニーズに対応できる客室や質の高いサービスの提供 ■MICE需要を含め、増加する宿泊需要に対応可能な規模（客室床面積の合計がおおむね10万平方メートル以上） ■地域特性を活かしたリゾート施設に相応しい空間 ■世界中の観光ディステイネーションとなる象徴的な建築物（非日常的・印象的）
<p>「⑤来訪及び滞在寄与施設」</p> <p>体験型観光の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■九州ならではの滞在提案型観光コンテンツの創出 <ul style="list-style-type: none"> - 九州ならではの四季の変化と楽しみ - 九州の自然を活かしたアクティビティ・アドベンチャー - 九州の職人技を集結させたプレゼンテーション機会創出 - 温泉による新たな需要創出・ヘルスツーリズム促進 - ガストロノミーツーリズム <p>出所：九州観光推進機構、八芳園、アナンダウザヒマラ</p>
<p>⑥その他</p> <p>九州・長崎IRが目指す 区域の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■海を活かした開発、マリンスーツらしい空間の演出【早岐港（ハウステンボスマリーナ&ハウステンボスハーバー）の活用】 ■ハウステンボス地域が環境配慮型施設として開発されてきた歴史も踏まえた、ICTインフラ構築による、先進的且つ持続可能な観光リゾートの構築【イノベーションの実現】 ■災害時においてMICE施設等を避難施設として利用【防災、減災拠点】

九州・長崎IR 基本構想 (概要)

IR整備に向けた課題と取組

交通アクセスの強化・連携

<IR整備に伴う交通インフラ整備の基本的な方針>

- 広域交通（空港、新幹線、道路）ネットワーク形成の促進
- 公共交通機関の輸送機能拡大・連携強化
- IR候補地周辺の地元交通渋滞対策
- 地域の特性を活かしたIR特有の交通機関導入



出所：国土地理院地図に情報追記

<具体的な方策>

- 長崎空港の機能強化・九州内の空港連携
- 鉄道の機能強化と九州新幹線の早期整備
- 九州内の高速バス・トランジット機能の活用促進
- 長崎空港・IR施設間の海上交通の整備
- IR施設周辺道路網の整備
- エンターテインメント性を備えた移動の提供

優先順位を考慮した段階的な導入

MICE誘致支援体制

- コンベンション推進団体との情報共有・連携体制の強化による、オール九州のMICE誘致拡大
 - 情報連携や海外向け共同プロモーション
 - 九州の観光資源を活用したアフターコンベンション開催など
- 官民一体による「(仮称)九州・長崎IR・MICE誘致プラットフォーム組織」の新規立ち上げ

IR区域外の活性化に向けた取組

- 大村湾や離島エリアをはじめとする周辺エリアの開発促進
 - 大村湾や離島・九州の特性を活かした観光インフラ整備（滞在・宿泊施設、文化施設、交通インフラなど）
 - 地域の祭り等の伝統文化や歴史的建造物の保全活動
- 九州の新鮮・安全で多様な食材のIR施設への調達促進

国際観光人材の育成

<九州・長崎IRを拠点とする観光人材育成の全体イメージ>

教育機関やIR事業者等と産学連携コンソーシアムの構築

産学連携コンソーシアムのイメージ



九州・長崎県内での合意形成

<九州内>

民間・議会・行政が一丸となった九州・長崎IRの推進

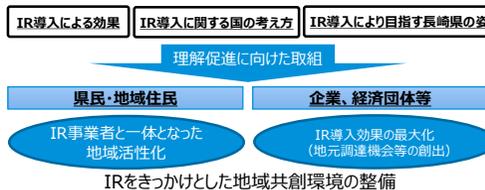
<今後の方向性>

- 九州地域戦略会議の下、各県及び経済団体実務者による九州IR推進プロジェクトチームを設置（食材等の供給体制の構築などの広域的な連携の在り方を協議）
- オール九州による国への要請活動
- 事業展開に向けた九州経済界の意識醸成（セミナーやフォーラムの開催等）



<長崎県内>

理解促進から地域共創へ

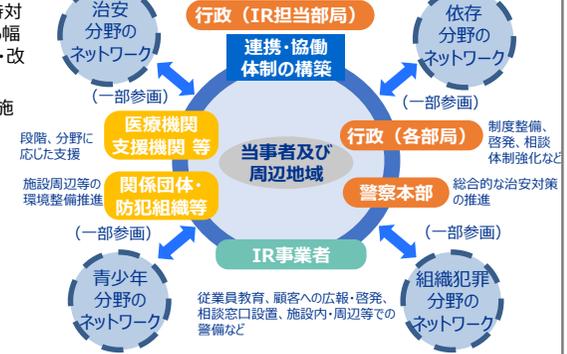


懸念事項対策

<分野間の連携・協働体制の構築>

- キャンブル依存症対策、治安維持等対策（治安維持対策・組織犯罪対策・青少年の健全育成対策）に係る幅広い主体が連携した協働体制を構築し、対策の検証・改善を継続的に実施するための連携体制を構築
- PDCAサイクルによる継続的な対策の検証・改善を実施

<連携・協働体制の構築のイメージ>



- 連携体制構築により目指す姿
 - IR施設利用者にとって、安心して、かつ、責任をもち施設を利用できる環境の確保
 - IR施設周辺の住民にとって、安全・安心・快適な地域環境を享受できる基盤の整備
 - IR事業者にとって、施設利用者や地域と良好な関係を構築し、ともに共生できる社会の構築

IR導入による効果

九州・長崎への効果

- 九州観光戦略の達成に向けた貢献
 - 九州ブランドイメージ構築
 - 観光インフラ整備
 - 九州への来訪促進
 - 滞在・消費促進
- 「観光立県長崎」の実現
- まち・ひと・しごと総合戦略への貢献
 - 「しごと」と「ひと」の好循環の創出
 - 地方経済への強いインパクト
 - 広域観光周遊を促進し、地方の魅力強力に発信 等

日本全国への効果

- 財政の改善
 - 地方創生への貢献（人口減少の歯止め、県民所得増加等）による税徴収額の増加
 - カジノ施設による納付金・入場料
- 観光及び全国地域経済の振興寄与
 - アジアの玄関口である九州・長崎発による、新たな広域観光周遊ルートの形成
 - 訪日外国人旅行者数・消費額、全国の外国人延べ宿泊数の増加

九州圏内への経済波及効果 (想定)

- 集客延人数 : 690万人~930万人/年
- 建設投資額 : 3,500億円~4,600億円
- 経済波及効果: 運営 3,200億円~4,200億円/年
建設 6,100億円~8,100億円
- 雇用創出効果: 運営 2.8万人~3.6万人/年
建設 6.3万人~8.4万人

納付金・入場料の用途

- 観光の振興に関する施策
- 地域経済の振興に関する施策
- 法の目的及び地方公共団体の責務を達成するための施策
- 社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策
- 離島振興など、九州・長崎の課題解決に対応する施策

想定スケジュール

	2018	2019	2020 ~ 2025
国		カジノ管理委員会設置 ● 委員会規則等の制定 ● IR整備法成立	区域整備計画認定 カジノ免許付与
長崎県		主要政省令等の制定 基本方針策定 ● 基本方針公表	区域整備計画認定審査 カジノ免許付与審査
IR事業者		実施方針策定 事業者選定	協議 地方の合意形成手続き 事業基本計画策定 区域整備計画の策定 実施協定締結 開業準備 工事 免許申請準備